

# 医療機関の承認・指定状況等 (2018年5月1日現在)

## Legal Authorization of Medical Services

### [医療機関の承認]

- 臨床修練指定病院
- 医療法第7条第1項による開設許可(承認)
- 健康保健法による(特定承認)保険医療機関
- 生活保護法による医療機関
- 労働者災害補償保険法による医療機関
- 原爆医療法による一般医療法
- 原爆医療法による認定医療法
- 母子保健法による妊婦乳児健康診査
- 母子保健法による養育医療
- 戦傷病者特別援護法による厚生医療
- 特定機能病院の名称の使用承認
- エイズ治療拠点病院
- 大阪府災害拠点病院
- 感染症予防法による指定届出機関(基幹定点)
- 大阪府三次救急医療機関
- 大阪府肝炎専門医療機関
- 覚せい剤取締法による国の開設する覚せい剤施用機関
- 障害者自立支援法による更生医療
- 障害者自立支援法による育成医療
- 障害者自立支援法による精神通院
- 入管難民法による出入国管理及び難民認定法に基づく指定医
- 大阪府総合周産期母子医療センター指定
- 医療観察法による指定通院
- 大阪府肝疾患診療連携拠点病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 児童福祉法第19条の9第1項の規定による指定小児慢性特定疾病医療機関
- 難病の患者に対する医療等に関する法律第14条第1項の規定による指定医療機関
- 臨床教授等指定病院
- 医療法上の臨床研究中核病院
- がんゲノム医療中核拠点病院 ※太字は大阪府による承認指定

### [先進医療]

- バクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法  
上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん
- ベベルミノゲンベベルプラスミドによる血管新生療法  
閉塞性動脈硬化症又はビュルガー病(血行再建術及び血管内治療が困難なものであって、フォンタン分類Ⅲ度又はⅣ度のものに限る。)
- FDGを用いたポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影による不明熱の診断  
不明熱(画像検査、血液検査及び尿検査により診断が困難なものに限る。)
- コラーゲン半月板補填材を用いた半月板修復療法 半月板損傷(関節鏡検査により半月板の欠損を有すると診断された患者に係るものに限る。)
- 周術期カルペリチド静脈内投与による再発抑制療法 非小細胞肺癌(CT撮影により非浸潤がんとして診断されたものを除く。)
- 11C標識メチオニンをを用いたポジトロン断層撮影による再発の診断 頭頸部腫瘍  
(原発性若しくは転移性脳腫瘍(放射線治療を実施した日から起算して半年以上経過した患者に係るものに限る。))又は上咽頭、頭蓋骨その他脳に近接する臓器に発生する腫瘍(放射線治療を実施した日から起算して半年以上経過した患者に係るものに限る。))であり、かつ、再発が疑われるものに限る。)
- 角膜ジストロフィーの遺伝子解析
- 自家嗅粘膜移植による脊髄再生治療  
胸髄損傷(損傷後十二月以上経過してもなお下肢が完全な運動麻痺(米国脊髄損傷学会によるAISがAである患者に係るものに限る。))を呈するものに限る。)
- リツキシマブ点滴注射後におけるミコフェノール酸モフェチル経口投与による寛解維持療法 特発性ネフローゼ症候群  
(当該疾病の症状が発症した時点における年齢が十八歳未満の患者に係るものであって、難病性頻回再発型又はステロイド依存性のものに限る。)
- 放射線照射前に大量メトトレキサート療法を行った後のテモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法並びにテモゾロミド内服投与の維持療法  
初発の中脳神経系原発悪性リンパ腫(病理学的見地からびまん性大細胞型B細胞リンパ腫であると確認されたものであって、原発部位が大脳、小脳又は脳幹であるものに限る。)
- 11C標識メチオニンをを用いたポジトロン断層撮影による診断 初発の神経膠腫が疑われるもの(生検又は手術が予定されている患者に係るものに限る。)
- 経胎盤的抗不整脈薬投与療法 胎児頻脈性不整脈(胎児の心拍数が毎分百八十以上で持続する心房粗動又は上室性頻拍に限る。)
- 術前のS-1内服投与、シスプラチン静脈内投与及びトラスツマブ静脈内投与の併用療法  
切除が可能な高度リンパ節転移を伴う胃がん(HER2が陽性のものに限る。)
- テモゾロミド用量強化療法 膠芽腫(初発時の初期治療後に再発又は増悪したものに限る。)
- 自己心膜及び弁形成リングを用いた僧帽弁置換術 僧帽弁閉鎖不全症(感染性心内膜炎により僧帽弁両尖が破壊されているもの又は僧帽弁形成術を実施した日から起算して六月以上経過した患者(再手術の適応が認められる患者に限る。))に係るものに限る。)
- 腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術
- 多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術

# 経理状況／未来医療の推進

## Finance／Translational Research

### [収入と支出] (2017年度) ※受託研究等外部資金及び施設費は除く

収入 (単位：千円)		支出 (単位：千円)	
区分	金額	区分	金額
運営費交付金	3,622,662	人件費	15,212,843
附属病院収入	38,130,788	医療費	17,890,570
その他収入	660,698	債務償還経費	2,317,257
		業務費	6,993,478
<b>合計</b>	<b>42,414,148</b>	<b>合計</b>	<b>42,414,148</b>

### [受託研究等外部資金及び施設費]

外部資金受入額 (単位：千円)		施設費 (単位：千円)			
区分	金額	区分	金額		
受託研究等収入	受託研究	156,089	設備整備	超音波診断装置	80,000
	治験	727,485		手術支援システム	281,000
	共同研究	76,758	<b>合計</b>	<b>361,000</b>	
	共同研究	76,758			
受託事業等収入	受託実習生	3,889			
	病院研修生	2,599			
	その他	6,867			
	共同事業	19,800			
寄付金収入	114,125				
補助金等収入	649,630				
<b>合計</b>	<b>1,757,242</b>				

## トランスレーショナルリサーチの推進

新しい医療を開発し、臨床の場で試用してその有効性と安全性を確認し、日常医療へ応用していくトランスレーショナルリサーチ(TR)を実践推進していきます。

- TRの実施件数(2017年度)
- 新規TR実施件数：71件
- 臨床研究新規許可件数：4件

## 診療と教育・研究のグローバル化

本院では2013年4月に、外国人診療や外国人医療研修に関連する様々な業務やコーディネートを一貫して行う部署として、国際医療センターを設置し、各部署と連携しながら診療と教育のグローバル化を目指して下記の事業に取り組んでいます。

### | インバウンド基盤整備

- 海外からの患者受入れ体制の整備
- 海外からの医療研修受入れの推進
- 関西での国際医療ネットワーク形成

### | アウトバウンド

- 世界市場への日本の医薬品・医療機器の展開
- 国際共同治験・共同研究の推進
- 日本の医療システムの海外進出

### | 国際医療教育・研究

- 大阪大学内外の研究・教育施設との協力による国際医療教育・研究の推進

### | 国際機能評価

- 国際病院評価機構(JCI)受審に向けた準備。
- 外国人患者受入れ医療機関認証制度(JMIP)を受審し、認証された。(2016年3月)
- ジャパン インターナショナル ホスピタルズ(JIH)に推奨された。(2016年9月)

